

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(丸塚中)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 3年目となる令和6年度は、学校の課題を基にした学校から地域への要望をより積極的に聞き、それに合わせた地域人材の拡大や確保を進めていく。
- 委員が生徒と直接話したり、意見を聞いたりする機会をつくり、生徒の生の声を聞く中で協議会ができることを検討していく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 「志を持ち 自ら学び 良さを伸ばし合う生徒の育成」について、各委員が様々な視点で具体的な意見を述べ、充実した熟議ができた。
- 校長先生をはじめとした先生方の生徒たちへの熱意を感じる内容となっている。
- 授業や学校行事の参観、部活動での活躍、登下校の様子から、生徒自身が「明日も来たくなる丸塚中学校」を実感していると体感している。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 委員・地域住人として、年間を通して生け花教室を行い、発達支援教室や校内まなびの教室(コスモス)の生徒たちの豊かな情感を育むことができた。また、クラフト体験を実施し、ともに学ぶ機会を持つことができた。今後も地域人材を活用し、地域と学校のつながりを意識した活動を拡げていきたい。
- 学校評価アンケートでの制服見直し項目や、生徒会による校則(髪型)の見直し案について意見交換し、地域住民として感じることや時代に合わせた見直しの必要性について熟議することができた。
- 支援活動が一部の生徒に偏っているように思うので、できる支援を検討していきたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校ホームページやCSだよりを通して、情報発信を行っている。
- 有効かつ効果的な発信の方法がないか、模索していきたい。また、委員自身からの情報発信も進めていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 2期目を迎える令和7年度は、中学校区で共有するボランティア人材を生かし、学校の課題や各教科からの要望を基にした学校から地域への依頼をより積極的に聞き、それに合わせた学校支援活動を進めていく。
- 委員が生徒と直接話したり、意見を聞いたりする機会(生徒会や学級運営協議会の場)をつくり、生徒の生の声を聞く中で協議会ができることを検討していく。